



地域新聞

鎌ヶ谷版

2010年 12月17日号
Vol.543

【発行】株式会社地域新聞社 船橋支社
〒273-0137 千葉県鎌ヶ谷市道野辺本町2-6-5
ファインズ笹川1階
TEL.047-441-3151 / FAX.047-441-3152
毎週木・金曜日配布 購読料無料 手配り

地域新聞に関するご意見・ご要望・お問い合わせは
読者サポート ☎ 0120-152-337まで
受付 / 平日10:00~18:00 ※土日祝日は休み
✉は kamagaya@chiikinews.co.jp

サークルとわの会

日々の暮らしから教育や政治まで、物事の見方を講師が哲学でとらえる話題は、具体的で分かりやすく、新鮮な刺激を与えていた。



した。

政治放談では最近の政治家たちの失態続きに、さまざまな意見が交差して一気に盛り上がり、武田さんの解説にも熱が入っていた。

公民館講座からスタートして三十一年、自分で考え自分の意見を持つとうと一貫して「生き方」を学んできた。哲学を通して真・善・美を追求しながら、表面的なことにはとられない真の価値、内面の価値を見つけてきた。武田さんの話題は幅広く、会員にとってはいずれも日常の生きる姿勢となり、おのずとそうした生き方が身に付くそうだと。何よりも知的刺激が心の充実感を高めてくれるという。

(萌幹)

※問い合わせ

047(444)5021

酒井



講師の武田康弘さん

最初の話題は武田さんがブログで表した戦争問題に関する「平和の維持は教育にあり」。悪（戦争など）

かし現実には「今も何も変わっていないのね」と、ため息がもれてくる。そのほか、子どもの心をはなかがしろにして型にはめたり、管理したりしたがる大人たちに警鐘も鳴らす。心が折られた子どもの例を挙げながら、大人たちの既

同会は毎月第三金曜日午前十一時から二時間、鎌ヶ谷市中央公民館で例会を開く。会員は十三人（うち男性は一人）。講師は、哲学者であり、我孫子の白樺教育館館長の武田康弘さん。昨年十月から参議院行政監視委員会の客員調査員となり、国会所属の官僚に講義を行っている。

は許容しても、最悪を避ける現実的な思考や感覚が平和維持へつながるとしながら、それは教育が核心になるといふ。幼少時代から自分で考える、対話し、決断する体験的訓練を重ねていくことが大事。自分で考え実行することは子どもにとってわくわくする体験であり、それが現実的



武田さんと歓談する皆さん

判断能力を養うとも。その意味では道のりは遠いとし、教育のあり方・親の受験一筋の発想に一石を投じる。参考に、元総理大臣・石橋湛山の著書を抜粋して披露。明治く大正期の教育論や政治批判など先駆的な民主政治理念に「素晴らし

い」と感動する皆さん。し